



気がつけば つながりの中で生きている

相模原市 工藤満理子

あんがい人様の事は、はたから見たらよくわかることがある。

自分の事は、からだもころも分かっているようでよく分かっていない。朝起きた時に身体のどこかしらが痛い、痛いところに原因があると思っていたら、痛みのない反対側の凝りやツツパリが痛みの元になっていることがある。

またお腹のはたらきが頭に影響していたことがあり驚きです。これは頼りにしている整体の古川先生に教わったことです。「からだは繋がっているんですよ～」と丁寧にほぐしてもらうと、あら不思議ツツパリや凝りが緩むと痛みも少しずつ遠くの方に行きます。やっぱり身体は繋がっているんだと実感します。

ころはどこにあるのかなあ、五感とは別のもので、ころは情と繋がっていて見えないけれどある、能力も智恵も見えないけれどあると教わりました。そういえば見えない力に助けられたことが数回あります。人も物も自分という存在も繋がりの中で影響し合っているんですよ、今座っている座布団の下には畳があり、床があり、土台があり、土があると、「いのちの満足」の講座でわかり易く話して下さいました。

伊勢原の会のテキスト松田先生の著書「いのち輝く子ら」の中の「成長を信じ味わう」で和田先生はある方向性を持って伸びて行くことを生長と言い、老いていくことも生長ですと。「活かすクラブ」ではお茶畑で小学生から80代の皆さんと一緒に作業します（おそるべし80代のパワー）。お茶の木より伸びたガンコな草を両手で踏ん張って抜くと、土と匂いが飛び出します。人とつながり地面と繋がっている実感の味わいが、そこにはあります。これからも前期高齢者はあんしんして生長していけます。